

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成 29年2月24日 (金)

## ■福祉サービス事業者情報

名 称	下関市こども発達センターはたぶ園	種 別	福祉型児童発達支援センター
代表者氏名	後藤 吉秀	開設年月日	平成7年4月
設 置 者	社会福祉法人 下関市社会福祉事業団	定員(利用人数)	30名(利用児37名)
所 在 地	下関市幡生本町26-12		
電 話 番 号	083-233-9850	FAX番号	083-233-9851
ホームページアドレス	<a href="http://www.shimo-iigvodan.jp/">http://www.shimo-iigvodan.jp/</a>		

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

- 1.地域の中核的専門機関としての役割を担うべく、施設長をはじめ職員が一体となって質の高いサービス提供に努めています。中期経営計画にもとづき具体的な取組課題と達成目標を定め、施設運営の多面的な改善に努めています。
- 2.前回受審時(平成24年2月)以降、療育時間の延長、定員増を行うなど地域のニーズ、保護者のニーズに対応した具体的な取組を展開しています。
- 3.外部のコンサルテーションを受けてコミュニケーション手段の向上に取り組むなど、療育の質向上に向けた取組を実施しています。スタッフ間で子どもの状態像や療育上の目標を共有し、チームとして子どもの発達支援に専門性を発揮しています。
- 4.アンケートや懇談会、個人面談等を通じて保護者の意向の把握に努め満足度の高いサービス提供に努めています。

#### ◇改善を求められる点

- 1.中期経営計画をより実効性のあるものにするために中期の収支計画も策定することが望まれます。
- 2.職員のさらなる質向上に向け、職員個々の目標設定にもとづく研修計画の整備を期待します。
- 3.法人ホームページで苦情受付を行うにあたり、匿名でも送信が可能となるよう配慮を望みます。

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

客観的かつ的確な評価をありがとうございます。このたびの評価を踏まえ、サービスのより一層の向上に活かしていきたいと思えます。とりわけC評価となった項目については、個々の研修計画策定やサービス見直しの仕組構築等に力を注ぐ所存です。

またこれまでの取組に加え、家族支援において「ペアレントトレーニング」に取り組んでいきたいと考えております。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	5	b	4	c	0	Na
<p>理念・基本方針は明文化され、職員・保護者に周知が図られています。                      地域ニーズ・利用者ニーズから、取組課題を整理し、達成目標を明文化されています。                      前回受審時(平成24年2月)以降、中期経営計画が策定され、施設の運営改善に向けた組織的な取組が推進されました。計画の着実な実行と評価、さらなる計画策定へとPDCAサイクルを稼働させていただくことを期待します。                      経営計画の着実な実行に向け、中期の収支計画もあわせて策定することが求められます。</p>							

II 組織の運営管理	a	14	b	3	c	1	Na
<p>管理者は職員との意思疎通を心がけつつ、より質の高いサービス提供に向けてリーダーシップを発揮しています。職員が報告・連絡がしやすいよう配慮しスタッフ間の情報共有に努めています。                      情報公開が適切になされ、透明性の高い施設運営がなされています。                      積極的な職員研修が行われていますが、より実効性を高めるため、職員個々に目標を設定し、それに基づく研修計画を策定することが期待されます。                      地域との関わりを深めるための取組を積極的に行い、きょうだい児の支援に取り組むなど専門性を生かした活動を展開されています。</p>							

III 適切な福祉サービスの実施	a	15	b	2	c	1	Na
<p>保護者会や交流会、個人面談、アンケート調査などさまざまな方法で保護者の意見や要望を把握することで、満足度の向上に努めています。                      個別支援計画に基づく療育はアセスメントと日々の記録をもとに定期的に見直しがなされ、子どもの発達段階に応じた療育に努めています。                      さまざまな方法で保護者が相談や意見を述べやすい環境づくりに努めていますが、ホームページの苦情受付のフォームは実名入力を求めているため、匿名による送信を受け付けるよう改善が求められます。                      「生活習慣指導手順表」を見直す仕組みが確立されていないので、定期的な検証と見直しを行うことが求められます。</p>							

IV 良質な個別サービスの実施	a	18	b	0	c	0	Na
<p>個別支援計画に基づき、個々の目標に沿って、子どもの特性や発達段階に応じた、主体性を育てる療育支援が行われています。                      療育をビデオ撮影し反省会を行うなど、1人ひとりの子どもに適切な療育を行うための検討が行われ、チームとしての療育の質向上が図られています。                      保護者の意向を尊重した就学支援が行われています。小学校への見学同行、教育委員会との連携など、保護者に配慮した支援に努められています。</p>							